

1 3 商流活用のマーケット調査 及び 4 1 海外等販路開拓の結果

(令和3年度補正品目団体輸出力強化緊急支援事業)

一般社団法人日本青果物輸出促進協議会
(静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支部)
EU,UAE,カタール

A:EU、メロン（クラウンメロン） 1313、4077

出張期間 2023年2月24日から3月1日

出張行程 ※中東事業（2/18～2/24）と同一出張にて実施

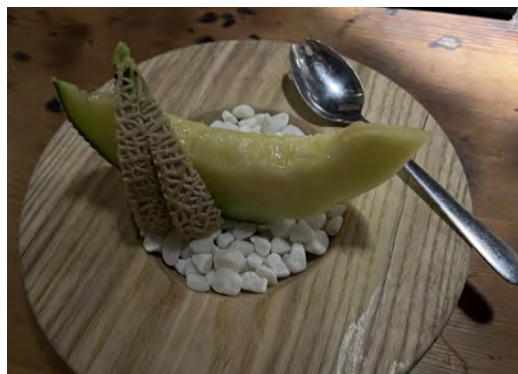
月日	場所	内容
2/18（土）	成田空港	出発
	中東事業	
2/24（金）	アブダビ→バルセロナ	移動
	在バルセロナ日本国総領事館	挨拶
2/25（土）	取引先レストラン	商談、プロモーション
	バルセロナ市内	市場視察
2/26（日）	バルセロナ→マドリード	移動
	マドリード市内	帰国用PCR検査
2/27（月）	マドリード市内	市場視察
	在スペイン日本国大使館	挨拶
	JETROスペイン	ブリーフィング
	取引先レストラン	商談、プロモーション
2/28（火）	マドリード空港	出発
3/1（水）	羽田空港	帰国

A:EU、メロン（クラウンメロン）

1313、4077 実施期間（2023年2月25日、27日）

1 スペイン取引先レストランでのプロモーション

- ・バルセロナとマドリードに店を構える日本食レストラン「Akaneya」様と、2年半前から取引開始、注文は年々増加傾向にある。
- ・昨年8月にオーナーがクラウンメロン支所に来所。その際PR用動画の撮影を行い、同動画を活用して顧客や現地メディアにクラウンメロンを周知いただいている。
- ・今回、同レストランの全従業員を対象に、クラウンメロンの取扱方法や、ストーリーを伝えるワークショップを開催した。
- ・併せて、実際にお客様に提供する様子を確認し、スタッフへのアドバイスをを行った。
- ・同レストランは、今年中にパリへの出店も予定しており、今回の商談の結果、パリの新店でもクラウンメロンの取り扱いが決まった。



写真左：
Akaneya様にて実施したクラウンメロンのワークショップ

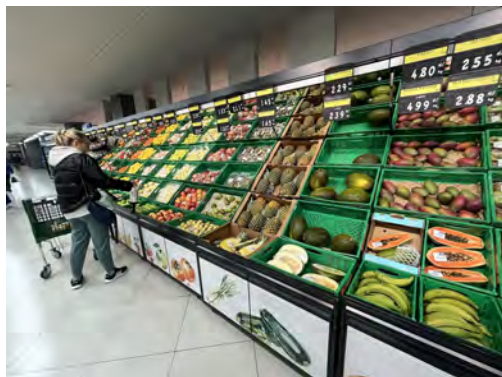
写真右：
コース料理のデザートとして提供されているクラウンメロン

B:EU、メロン（クラウンメロン）

1313、4077 実施期間（2023年2月24日から3月1日）

2 スペインでの市場調査

- ・ 今回の訪問時は、スペイン産メロンの旬の時期ではなく、店頭にはブラジル等からの輸入メロンが多く並んでいた。価格は2～5ユーロ/kg程度。
- ・ フルーツはよく食べる国民らしく、特に柑橘系の品質は高く感じた。今回スペイン産メロンは試食できなかったが、欧州各国へ輸出されており、高い評価を得ているとのこと。
- ・ スペイン国民はメロンには馴染みがあり、一年中美味しいメロンを食べられるクラウンメロンはとても魅力的だが、英国やフランスと比べると平均所得が低いため、価格がネックとなる。
- ・ 日本の青果物はほとんど流通しておらず、安定的な輸送ルートの確保も販路拡大に当たっての課題となる。



C:EU、メロン（クラウンメロン）

1313、4077

○コロナ禍において取引が始まり、更なる取引拡大を目指して今回現地プロモーションを実施したが、メロンの産地であるスペインであってクラウンメロンが大変好評である様子を目にし、今後の欧州での販路拡大を目指す上での手応えを感じた。取引先のパリ出店と連携し、今後はパリでも販促を実施したい。

○他の日本産青果物がほとんど入っていない地域なので、安定的な輸送ルート確保や、輸送コストが課題となる。また、地産の美味しい果物が安い価格で手に入る地域でもあることから、単に美味しいだけではなく、より一層、「なぜこのメロンなのか」といった、付加価値を付けた販売方法を模索していく必要があると感じた。

A:UAE・カタール、メロン（クラウンメロン） 1314、4078

出張期間 2023年2月18日から24日

出張行程 ※EU事業（2/24～3/1）と同一出張にて実施

月日	場所	内容
2/18（土）	成田空港	出発
	アブダビ空港	到着
2/19（日）	アブダビ→ドーハ	移動
	ドーハ市内	商談
2/20（月）	ドーハ市内	商談
	ドーハ→ドバイ	移動
2/21（火）	ドバイ周辺	Gulfood視察、商談
	ラッフルズホテル	天皇誕生日レセプション出展
2/22（水）	ドバイ周辺	市場視察、商談
	ドバイ→アブダビ	移動
2/23（木）	アブダビ周辺	市場視察、商談
	インターコンチネンタルホテル	天皇誕生日レセプション出展
2/24（金）	アブダビ→バルセロナ	移動
	欧州事業	
3/1（水）	羽田空港	帰国

A:UAE・カタール、メロン（クラウンメロン）

1314、4078 実施期間（2023年2月19日、20日）

1 日本食取扱卸、及び現地レストランを訪問しての商談（カタール）

- ・ 現地の日本食卸「Musashi International」様と連携し、現地高級レストランへの訪問営業を実施した。（5店舗）
- ・ 在カタール日本国大使館へ訪問し、追って開催される天皇誕生日レセプションでのクラウンメロンの提供を約束した（2月27日開催）。
- ・ カタールでは高級レストランが続々オープンしており、その中には日本食取扱店も多くあることから、日本産高級メロンの入り込む余地もあるだろうとのこと。ただし、UAEに比べ輸送コストがかかり、現地での認知度もまだ高くないため、粘り強い営業が必要と思われる。
- ・ 今回の訪問先の反応は全て好評であり、近々注文を入れるとの回答もいただいた。



写真左：
商談したレストラン「Morimoto Doha」
コロナ前には取扱実績もある

写真右：
後日開催された天皇誕生日レセプション
でのクラウンメロン提供の様子

A:UAE・カタール、メロン（クラウンメロン）
1314、4078 実施期間（2023年2月21日、23日）

2 天皇誕生日レセプションへの出展（ドバイ、アブダビ）

- ・ 在ドバイ日本国総領事館、在UAE日本国大使館主催のレセプションにそれぞれブース出展し、会場にて来場者へクラウンメロンを提供した。
- ・ メロン48玉を用意し、両会場で約700人程度に試食を提供した。
- ・ 輸送をお願いしたSummit Trading様と綿密な事前打ち合わせを行い、当日は食べ頃のメロンを提供することができた。また、同社との連携により、来場者に対してクラウンメロンの仕入方法をスムーズに案内することもできた。
- ・ 来場者の反応は極めて良好であった。これまでも継続して出展しており、「今回も楽しみにしていた」という声もいただいた。日本に馴染みのある来場者も多く、日本の高級メロンという認知度が高くなっていることも感じることもできた。



B:UAE・カタール、メロン（クラウンメロン）
1314、4078 実施期間（2023年2月19日～23日）

3 UAE・カタールにおける市場調査

- ・インド、オマーン、ヨルダンといった周辺国産のメロンがどのスーパーでも並んでいる。価格は10AED（約370円）/kg程度。
- ・UAEでは、既にクラウンメロンを取り扱っているスーパーもある。300AED（約11,000円）以上で販売されているが、常時売れているとのこと。
- ・自国で青果物はほとんど生産していないが、近隣国を中心に安価な青果物が多く輸入されている。その中で非常に高価格帯となる日本産青果物が入り込むためには、ターゲットを明確にし、他産地のものとは明確に違うということを消費者に伝える必要がある。（クラウンメロン取扱店）
- ・天皇誕生日レセプションの来場者から、最近はドバイを中心にクラウンメロンを見かけるようになったという話があった。



写真左：
カタールにある欧州系スーパーのメロン売り場

写真右：
ドバイにある、クラウンメロンを取り扱うスーパー。日本産と韓国産のイチゴも販売していた

C: UAE・カタール、メロン（クラウンメロン）

1314、4078

○これまでも中東地域でのプロモーションを実施してきており、初めは中々受け入れられなかったが、継続することで徐々に現地での認知度が高まっていることを感じた。クラウンメロンの販路も、知らないところで広まっており、今後更なる拡大が見込めると考える。

○通年生産しているクラウンメロンは輸出に関して強みではあるが、日本と気候が大きく異なる中東地域では、現地での追熟管理により一層の注意が必要と感じる。また、気候だけでなく、ラマダン等の独自の文化により消費が大きく左右されることもあることから、現地顧客のニーズに合ったプロモーションを今後も検討していく。